

厚膜型超防食セラミックコーティング材



ラスタッフ 2190

■ 技 術 資 料 ■

■ 施 工 要 領 ■



株式会社 アクセス

制定日 2018. 12. 01

改定日 2026. 07. 15

1. ラスタッフ 2190について

ラスタッフ 2190は、エポキシ樹脂をセラミックポリマーで変性し、さらに金属粉末やガラスフレーク等を混合した2液系の厚膜型セラミックコーティング材です。従来の2100シリーズと同様に、エポキシ樹脂とアミンとの反応により硬化します。

金属粉末は亜鉛を含んでおり、犠牲防食作用があります。また、成分にガラスフレークを含有しており、塗膜内部が緻密な編目構造となっています。塩分や水分といった腐食原因物質が素地まで到達しにくくなることで、錆の発生を防止します。

標準膜厚は1回あたり400 μ mと厚膜で、一度に塗布できるため、塗装工程の削減につながります。また、硬化物からの有害成分の溶出がなく、人体や環境にも優しい塗料と言えます。

2. 用途

海洋・港湾構造物、配管などの塗り替えを何度もできない箇所
塗装工程を減らしたい場合

3. ラスタッフ 2190の物性

塗膜の状態	半光沢
色	グレー
液性	2液性（主材、硬化材）
加熱残分	95%
比重（20℃）	1.3
標準膜厚（乾燥状態）	400 μ m（1回）
標準使用量	700 g/m ² （膜厚 400 μ m の場合）
可使時間（20℃）	2 時間
半硬化時間（20℃）	24 時間
塗装間隔（20℃）	1 日
混合比	主材：硬化材＝3：1（重量比）、2：1（体積比）
希釈剤	ラスタッフ 7010
保管期間	冷暗所、未開封で1年（5～35℃）

4. ラスタッフ 2190の試験結果

試 験 名	試 験 結 果	規 格
鉛筆硬度試験	5B	JIS K 5600-5-4
付着性試験（ポジテスト）	13.5MPa	JIS K 5600-5-7
噴射摩耗試験	30 分間で素地に到達しない	JIS H 8682-2 準拠
耐衝撃性（デュポン式 500g、300mm）	割れ及びはがれを認めない	JIS K 5600-5-3
耐屈曲性（マンドレル直径 10mm）	割れ及びはがれを認めない	JIS K 5600-5-1
耐アルカリ性（30w/v%NaOH、168h）	割れ・膨れ・はがれ無し	JIS K 5600-6-1 準拠
耐油性（灯油、168h）	割れ・膨れ・はがれ無し	JIS K 5600-6-1 準拠
容器包装規格試験	材質：Cd、Pb 適合 溶出：重金属、ビスフェノール A 適合	厚生省告示第 370 号

※ この数値は試験での数値であり、保証値ではありません

5. 施工方法

（1）気象条件

施工物の表面温度 5～35℃、相対湿度 85%未満の条件で塗装してください。相対湿度が 85%以上になると、施工物あるいは材料表面に結露が生じやすくなり、付着力が低下するなどの不具合の原因となります。

（2）素地調整

素地調整はブラスト（SSPC SP-10（ISO Sa 2 1/2））を行ってください。

（3）清掃

素地調整を行った後には、素地表面を脱脂してください。

（4）塗布方法

- ① 主材と硬化材をそれぞれよく混合してから、重量比で主材 3：硬化材 1、体積比で主材 2：硬化材 1 になるように量り取り、均一になるまで混合してください。このとき、使い切れる量を考慮してください。
- ② 希釈する場合は、ラスタッフ 7010 を加えて良く溶解してください。垂直物に施工する場合は希釈すると垂れてくる可能性があるため、無希釈での施工が望ましいです。
- ③ 塗装器具はエアレススプレー、エアスプレー、塗装機、ハケ、ローラーが可能です。エアレススプレーの場合、チップ口径は 0.53～0.66mm、圧力 155kgf/cm²（15.2 MPa）、希釈率 5%未満を推奨します。
- ④ 混合した材料は可使用時間（2 時間）以内に使い切ってください。
- ⑤ 塗り重ねる場合は半硬化時間（24 時間）以降に行ってください。
- ⑥ コンクリート面に施工する際は、ラスタッフ 2130 を先に塗布してから本製品を塗布してください。
- ⑦ 安全のため、防毒マスクや手袋等の個人用保護具を着用して塗布作業を行ってください。

(5) 使用上の注意

- ① 本製品は直射日光を避け、室温で保管してください。
- ② 雨天、湿度 85%以上、温度 5℃以下または 35℃以上での使用を避けてください。
- ③ 使用後は容器を密封して湿気等が入らないようにしてください。
- ④ 本製品を廃棄する場合、主材と硬化材を混合して硬化させてから廃棄してください。
- ⑤ 本製品の保管期限は、未開封で冷暗所に保管した場合 1 年です。開封した場合は 1 年以内になります。

※この技術資料は、予告なく内容を変更することがありますのでご了承ください。